



講演会

「地域にまこう、 小さなタネ」

～今こそまちづくりに小ネタを活かすとき～

「小ネタが豊富にある限り、地域は持続する」(東京大学社会科学研究所)

リニア中央新幹線の開業に向け名古屋駅周辺では様々な大規模開発事業が進むなど、名古屋のまちの姿が大きく変わろうとしています。こうした大きな事業や取り組みが進んでいる今、名古屋の各地域でのまちづくり活動においてはどんなことが必要になってくるのでしょうか。

本講演では、大規模な開発・改革などの、大ネタが成功するには小ネタを組み合わせる必要があります。地域の魅力的なストーリーは小ネタの積み重ねによって生まれるということ、東京大学社会科学研究所の、所長玄田有史教授と中村寛樹准教授らが提理する「KNT理論」をもとにご講演いただき、名古屋における「KNT（小ネタ）」の役割を考えていきます。

KNT（小ネタ）理論：「人口が減っても、地域はそう簡単になくならない。小ネタが尽きると、あっという間に地域は衰退していく」という考え。



東京工業大学大学院修了（博士（工学））。中央大学商学部准教授などを経て、現職。専門は、社会システム論。近著に、『新国富論-新たな経済指標で地方創生』岩波書店、『持続可能なまちづくり-データでみる豊かさ』中央経済社、『はじめてのアントレプレナーシップ論』中央経済社等がある。

講師／中村 寛樹氏
(東京大学社会科学研究所准教授)

お申し込み方法等の詳細は裏面へ

日時 | 2023年2月18日(土) 13:30～16:00 (受付13:00～)

会場 | 名古屋都市センター 11階ホール

参加費 | 無料 (名古屋市中区金山町一丁目1-1)

名古屋都市センターは、まちの魅力向上を応援しています。

名古屋都市センターが主催する令和4年度まちづくりびと講座は、「小ネタが地域を面白くする」というテーマで開催しました。



まちづくりびと講座

まちがいのメガネでまちを見てみよう

～「小ネタ」が地域を面白くする！～

連続講座

「この地域には見るものなんてないよ」なんて、言わないで。駅周辺にもあつて、道にでも発見できる。小さな小ネタ。このメガネをかければ、今まで見えていなかったような魅力が見えるんです。そのメガネがどこで手に入るかって？それは、この講座でお伝えします。お喋りの小ネタを集めれば、地域をもっと好きになる！



令和4年10月1日(土) 開講 4回連続講座 詳細は案内へ

【対象者】
市内在住在勤で、地域の小さな魅力発見・発信する力を磨きたい人
※全4回全てに参加できる方

【参加費】無料
※ただし事前申込が必要です

注意事項
・LINEのオープンチャットを使います
・行程の一部に、電車での移動を含む場合があります(交通費はご負担ください)
・講座と講座の間に、課題を設定する場合があります

主催：名古屋都市センター 共催：名古屋市熱田図書館

名古屋都市センターでは、令和4年度まちづくりびと講座においても、小ネタをテーマに開催いたしました。

KNT理論を参照しながら、ワークショップ形式で、参加者自らが小ネタについて考え、取り組んできました。

本講演会では、角度を変えて、小ネタについての講演を聴くことで、小ネタの価値に迫りたいと思います。

開催レポートはこちらからご覧いただけます。



▼お申し込みはこちらから

【定員】 40名

【申込方法】 「メール」か、右の「申込フォーム」をご利用ください。

Eメール：chimachi@nup.or.jp

件名を「地まちCampus講演会申し込み」とし、
①お名前、②メールアドレス、③ご所属（あれば）
以上3点を記入し、ご送信ください。

※先着順。定員に達した際は、ご参加いただけない場合がございます。
その際は当方よりご連絡いたします。

申込みフォーム



主催：名古屋都市センター

お問い合わせ先：

公益財団法人名古屋まちづくり公社

名古屋都市センター調査課 まちづくり支援担当

Tel: 052 - 678 - 2214

〒460-0023

名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル13階